



第26号

平成20年10月1日発行

発行
愛知県がんセンター
Tel. 052-762-6111(代)

平成20年度愛知県がんセンター公開講座を開催しました。

愛知県がんセンターでは、がんの予防・診断・治療・その他がんに関する最新の知識等を皆様にお知らせしようと、毎年「公開講座」を開催しております。

また、がんセンターでおこなわれている研究についても知りていただくため、高校生を対象に、がん細胞を使った簡単な実験や研究者との対話を通じて研究を体験していただく「高校生実験・体験コース」も開催しております。

公開講座は、7/10に「大腸がん」を、8/21には「最新の抗がん剤治療」をテーマとして開催し、それぞれ2名の医師と1名の認定看護師の演者により、ビデオやスライドを駆使して最新の情報を伝えました。会場は暑い中をお越しいただいた多くの方で埋まり、皆さんとても熱心に耳を傾けられ、ペンを片手にメモをとる姿も多く見受けられました。がんに対する皆さんの関心の高さを感じました。

「高校生実験・体験コース」は、白衣がまぶしい14名のフレッシュな男女の生徒さんに参加いただき8/22に開催しました。朝から夕方まで慣れない作業をするため、少々ハードなのではと思っていた日程も、そんなことは要らぬ心配。好奇心に溢れた生徒さん達は、時にまじめに時にはしゃがで、あつと言葉間に一日は終了し、皆さん満足いただき帰路につきました。この体験が、彼らが将来の進路を決める際の良い影響になればと願っております。

さて、今年度は「高校生実験・体験コース」は終了しましたが、公開講座は後2回開催します。一人でも多くの皆さんにがんについて関心を持っていただきたいと思っておりますので、皆さんをご参加くださるのをお待ちしております。



講演会のお知らせ		申込不要ですので、どなたでもご参加いただけます。
開催日時		テーマ
平成20年10月16日(木) 14:00~16:00 (開場13:00) (名古屋会場)	講演「乳がんについて」 ①乳がんを予防する ②乳がんの診断と治療 ③乳がんで悩まないで	
平成21年3月7日(土) 14:00~15:30 (開場13:00) (岡崎会場)	講演 ①相談支援センターの現状について ②セカンドオピニオンのかかり方 ③愛知病院緩和ケア科(部) 3年間の歩み	

発がん制御研究部では

研究所からの報告

私たちの研究室では、がん細胞の性質の解明やその治療法の開発を目指して、がん細胞の分裂・増殖およびがんの浸潤・転移について研究しています。がん細胞が浸潤・転移する時には、その細胞形態や運動性の異常が認められます。最近私たちは、私たちがアルバトロスと命名した蛋白質が、細胞の形態の維持に重要な役割を果たしていることを発見しました。アルバトロスは、細胞と細胞が接着する場所で、細胞の形態や運動を司る蛋白質であるPar3と同じ局在を示しました(図1)。図1では、赤色で染められたアルバトロスと緑色のPar3の像を重ねると、二つの蛋白質が同じ場所にあるために、黄色になっています。がん細胞では、細胞の形態や運動を司る蛋白質の異常がおこっているために、形態や運動性が変化している可能性があると推測されます(図2)。私たちは、これらの研究をさらに前進させ、新しい検査法や治療法の開発に役立てていきたいと考えています。



研究所
発がん制御研究部
部長 稲垣 昌樹

図1

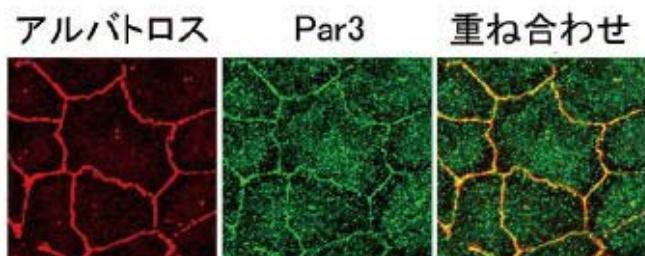
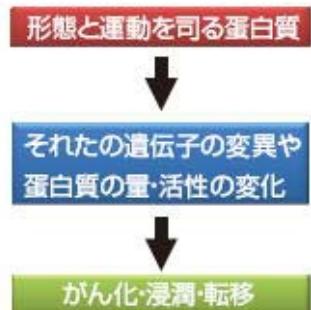


図2



ボランティアさんの紹介



パート

「院内ギャラリー」

がんセンターには、院内のところどころに、写真や絵画が展示してあります。ご覧になったことがありますか？

雄大な自然や心和ませる自然の営みなど多種多様な作品が展示されています。その写真や絵画などを集めて展示して下さるのが“院内ギャラリーボランティア”的みなさんです。

病院内でふと足を止めた時、みなさんが一息つけるような空間に、患者さんを始め、スタッフからも感謝の声をいただいております。

“ボランティアさん”を募集しています。

お申し込み、
問い合わせ先 運用部管理課総務グループ（担当 西條）

中央病院からの報告

頭頸部外科部では



中央病院
頭頸部外科部

部長 長谷川 泰久

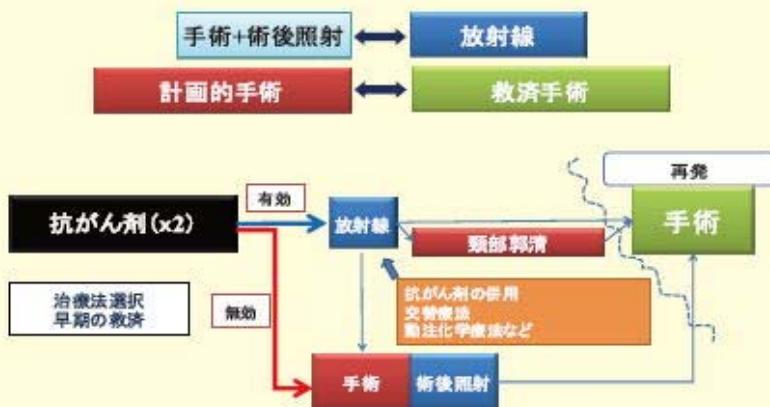
頭頸部がん手術においては口腔、咽喉頭を操作するために、少なからずその機能を犠牲にしなければならない場合があります。嚥下障害、音声喪失などは、患者さんにとって生命予後と同様に重要な問題です。

頭頸部癌における機能温存治療は、抗がん剤と放射線の併用によって手術を回避するものと、機能を保存できるような手術を行うものの二通りがあります。

頭頸部外科では根治性を損なわないように留意しながら、機能温存治療を行います。咽頭・喉頭がんでは抗がん剤治療を先行し、抗がん剤や放射線が良く効く場合には、これらの方法で治癒を目指します。抗がん剤の効果が不十分であれば手術を選択します。これは治療の個別化であり、臓器温存の観点からも、治療効果の点からも、患者さんにとって有益な方法です。

がんの個性は人それぞれであり、抗がん剤の有効性も異なります。また確立されていませんが、オーダーメイド化学療法の実現のための抗がん剤感受性予測の研究も以前から行っています。

導入化学療法による治療法の振り分け(個別化)



診察医の紹介 今回は、婦人科です。

婦人科では、子宮頸がん、子宮体がん、卵管がんや腹膜がんを含む卵巣がんなど、女性生殖器に発生する悪性腫瘍の診断と治療をおこなっています。より的確な診断の上での治療目的や方針の明示に努め、患者さんの御要望にできるだけお応えできる様心がけています。



中西 透 部長



伊藤則雄 医師



水野美香 医師



吉田憲生 医師



牧野 弘 医師

主な診療案内

平成20年10月1日現在の中央病院外来診療担当一覧です。
受付時間：午前8時30分から午前11時30分まで
(自動再来受付機) 午前8時から午前11時30分まで

診療科	月	火	水	木	金
総合初診	波多野	樋田	山雄	森島	中村(常)
消化器内科	山雄(初診) 田近・河合・原	山雄(初診) 水野(伸)・河合 澤木	山雄(初診) 澤木・原	澤木(初診)・中村(常) 山雄(第2・4) 水野(伸)(第1・3・5)	中村(常)(初診) 田近・水野(伸) 高木
呼吸器内科	吉田(初診) 堀尾(再診) 小川(再診・初診)	樋田(初診) 吉田(再診) 朴(将)(再診・初診)	清水(淳)(初診) 樋田(再診) 小川(再診・初診)	堀尾(初診) 清水(淳)(再診) 朴(将)(再診・初診)	(初診交代制) 樋田・吉田・堀尾 清水(淳)・小川・朴(将)
循環器	波多野			波多野	
血液・細胞療法	山本(初診) 田地・鏡味	森島(初診・再診) 山本・大木	鏡味(初診) 田地	田地(初診)・森島 山本・加藤(春)	大木(初診) 鏡味(再診)
薬物療法	室	宇良・高張	室	宇良	室・高張
頭頸部外科	長谷川・花井		長谷川 兵藤(午前のみ)	小澤 寺田(第1・3予約のみ) 花井(第2・4予約のみ) (第5交代制) 長谷川・寺田	寺田
形成外科	兵藤		兵藤		
胸部外科	安部	光富(予約のみ) 福井		光富・波戸岡 片山	篠田・光富 波戸岡・伊藤(志)
乳腺科	藤田(初診) 安藤・林(将)	林(将)(初診)・岩田 安藤・藤田	安藤(初診) 岩田・山下	山下(初診)・岩田 藤田・林(将)	岩田(初診)・安藤 山下・藤田
消化器外科	山村(第2・4) 伊藤(誠)(第1・3) 小森(康司)(七・新患)	金光・三澤 千田	山村・小森(康司) 清水(春)・二村	佐野・平井 伊藤(誠)	(予約のみ)
整形外科	杉浦・山田	(予約のみ)	山田		杉浦
泌尿器科	林(宣)・小倉		脇田・小倉		林(宣)・脇田
婦人科	水野(美)(初診) 吉田(美)(初診)(第1・3)	中西(初診) 吉田(美)(初診)	伊藤(宣)(初診)	中西(第1・3・5) 伊藤(宣)(初診) 水野(美)(初診)	中西(初診) 吉田(美)(初診)
放射線診断部	稲葉(初診)		稲葉(初診)・山浦	佐藤	稲葉・名嶋
放射線治療部	古平・富田	古平・立花	古平・立花	富田	古平・富田・立花
専門外来			ペインクリニック外来 鳥居	禁煙外来(予約のみ) 鈴木・田中	リンパ浮腫外来 岩田(博)(第1) 平井(正)(第2~5)

* 医師名の後の数字は、月の週を表します。 * 変更(休診)等がございますので、お電話でご確認ください。

* 再診予約制：診察券をお持ちの方は、診察予約をしてください。 052-764-2911(直通) 午前9時～午後5時(土・日・祝・年末年始除く)

交通のご案内

地下鉄利用：「自由ヶ丘」②番出口から 徒歩7分

- ◎名古屋・栄から 所要時間：名古屋から約30分
東山線「藤ヶ丘」行き乗車、「本山」乗り換え、
名城線「左回り」乗車、「自由ヶ丘」下車。
- ◎金山・栄・大曽根から 所要時間：金山から約35分
名城線乗車、「自由ヶ丘」下車。

市バス利用：「千種台中学校」下車 徒歩4分

- ◎名古屋駅から 所要時間：名古屋駅から約40分
基幹2系統「光ヶ丘」または「猪高車庫」行き乗車、
「千種台中学校」下車。
- ◎星ヶ丘から 所要時間：星ヶ丘から約20分
星丘11系統「地下鉄自由ヶ丘」行き乗車、
「千種台中学校」下車。

愛知県がんセンター中央病院 Tel. 052-762-6111 Fax. 052-764-2963

〒464-8681 名古屋市千種区鹿子殿1-1 ホームページ：<http://www.pref.aichi.jp/cancer-center/>

がんセンターNewsは古紙記念再生紙を使用しています。